

# 花菖蒲祭りて1日憩う

リポーター 佐藤 静子 (御成町4丁目)

今回の市民リポーターだよりは、障害者と一緒にバスレクに参加した佐藤リポーターと、下町橋の現状を土木課長から取材した桜庭リポーターのお二人のリポートを紹介します。

どこにも連れて歩けないので楽しみに「とこやかに話してくれまし

七月九日、大館市ボランティア連絡協議会主催の交流会が行われました。参加者は肢体不自由者、視覚障害者、介護者、ボランティアなど十七人、みな笑顔で市役所前をマイクロバスで出発。



△視覚障害者と交流している佐藤リポーター(中央)

音を聴き、嗅いで、触れて、また霧囲気で見ることができると小鳥の声に耳を傾けながら話していました。同協議会の会長は「皆さんに喜んでもらい大変うれし

車の運転をしていて「ヒヤリ」、そんな経験は運転手ならだれでもあると思います。その大半は自身自身の不注意と、相手の予想しない突然の行動によることが多いのではないのでしょうか。

## 地区の困りごと

リポーター 桜庭 健夫 (長木川南)

健夫 (長木川南)

がハーモニカで童謡を演奏。ハーモニカにあわせて童謡の大合唱で、疲れも感じずに大館に到着し、楽しいバス旅行となりました。

かいろいろな障害があるのではないだろうか。障害者の視点で見て、聞いて改善が必要なのは改善しなければならぬのではないかと

また、その他に危険な場所などもあります。私がよく通る下町橋もそんな危険な場所の一つです。特に、朝夕の通勤通学時間には橋の中で歩行者も車もともに動くことができない状態になることがしばしばあります。



△土木課長から取材する桜庭リポーター(右)

下町橋は昭和四十一年に耐用年数五十年の永久橋として架けられた一級橋だそう。当時の交通、生活事情には合っていたが、現在の交通量や生活事情に照らしてみると、少し狭いかもしれない

### 私からの提言

- ①都市計画路線として、道路に合う幅の橋を架ける。
- ②歩道を設ける。
- ③通学路指定を受けて歩行者を守る。
- ④仮設信号を設置する。
- ⑤混雑する時間帯一方通行にする。いずれの方法でも、早急に安全を確保してほしいものです。